Panasonic

取扱説明書

トリプルセンサー水栓（家庭用）

品番 S01E10TUA1 （一般地仕様）
S01E10TUAZ1（寒冷地仕様）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 7 ページ）を必ずお読みください。**
- 取扱説明書は保証書の「お引き渡し日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

保証書付き

目的にあわせてすばやく探す

手をかざして水を出す
通常モード 10ページ

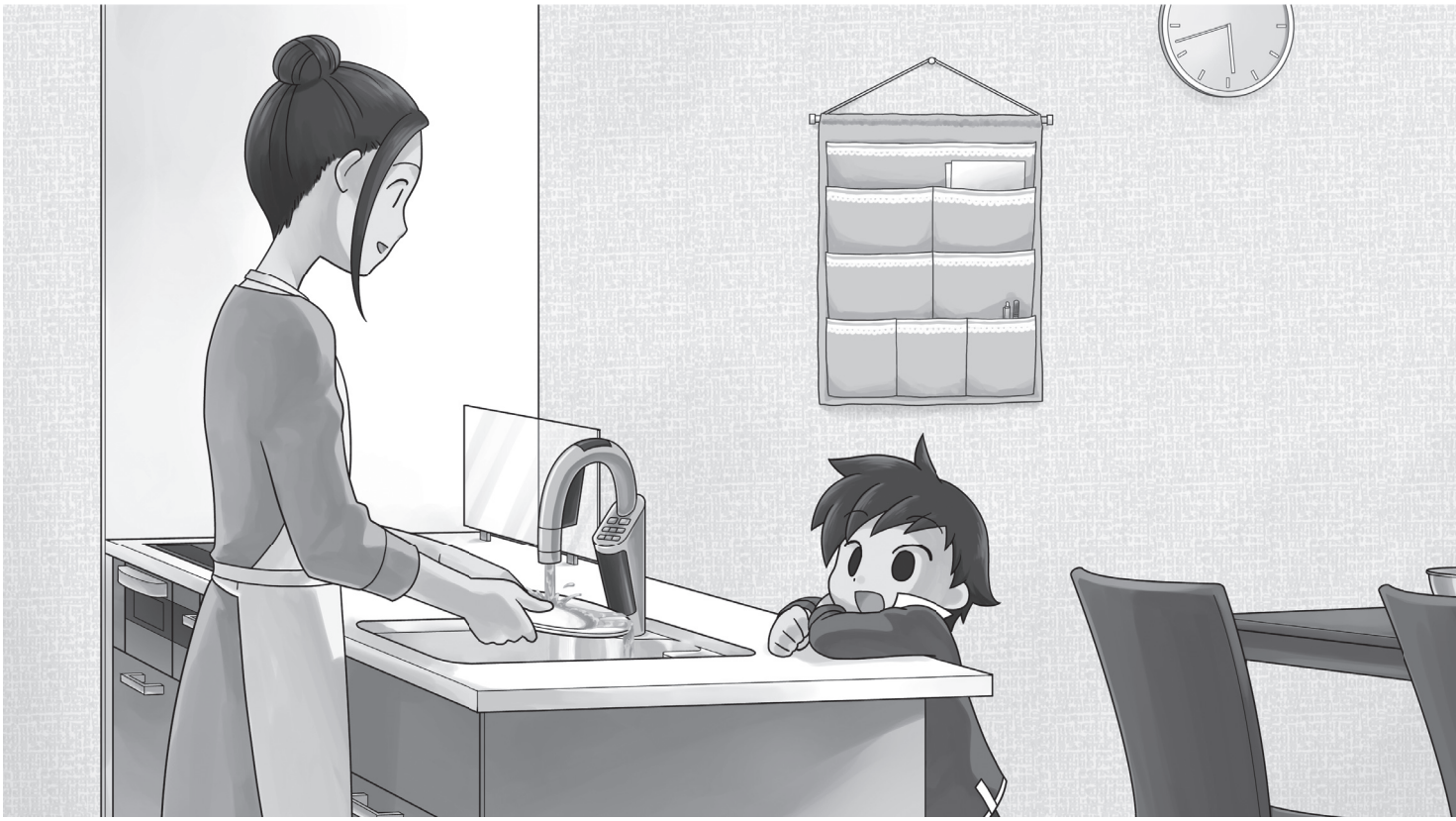
使うときだけ水を出す
節水モード 12ページ

お手入れのしかたを知りたい
お手入れのしかた 23ページ

疑問解決に
故障かな?と思ったら 30ページ

RF010

上手に使ってキッチンライフを楽しみましょう



気になる項目をすぐにチェック！

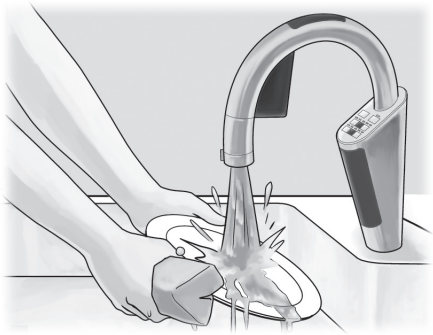
通常モード：手をかざして水を出す

上センサー

……10ページ

節水モード：使うときだけ水を出す

節水センサー



……12ページ

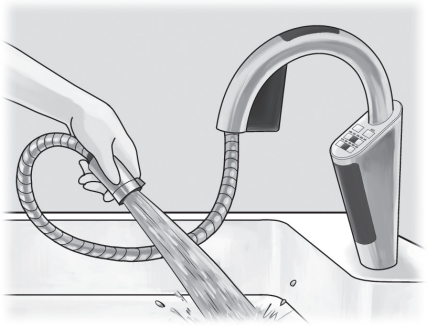
停電時は・・・

……19ページ

流量/温度を調整する

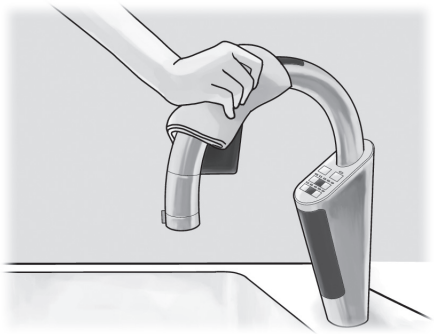
……14ページ

シャワーホースを伸ばす
シャワーと直流を切り替える



……10・11ページ

お手入れする



……23・24ページ

もくじ

ご使用の前に
必ずお読み
ください。

はじめに

安全上のご注意 4
各部の名前 8
ご使用の前に 9

使いかた

通常モード 10
節水モード 12
流量/温度の調整 14
使用上のお願い 16
節水センサーの感度調整 17

停電時および故障時

応急対応 19

凍結防止

凍結防止モードの設定 20
寒冷地仕様での水抜き 21

お手入れのしかた

使用する洗剤･道具 23
日常のお手入れ 23
定期的なお手入れ 24

その他

点検 26
消耗品と交換部品 28
故障かな? 30
仕様 34
保証書 35
保証とアフターサービス 裏表紙

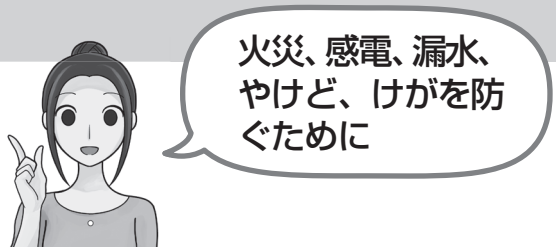
安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠警告



全般

禁止

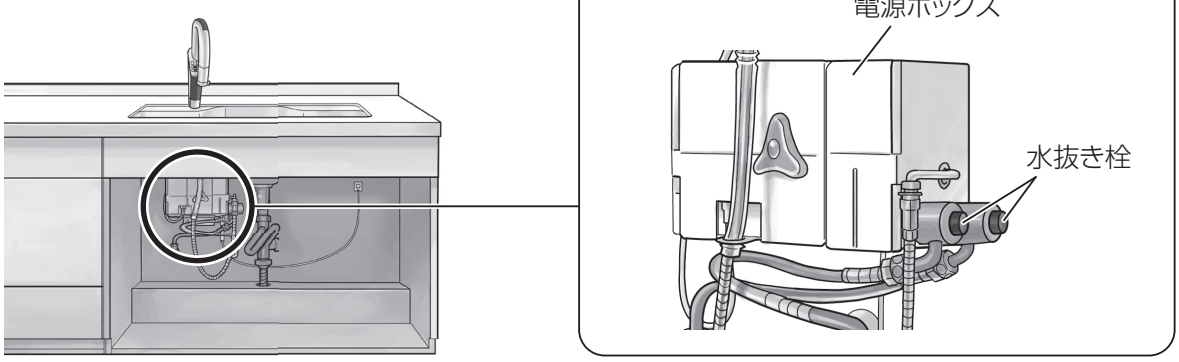
- **分解したり、修理・市販浄水器具の取り付けなどの改造をしない（指定された配管部、保守・点検の決められた項目などは除く）**
  （器具が破損し、やけど・けが、および漏水による財産損害発生の原因）
- **水につけたり、水をかけない**
  （発火、ショート、感電、故障の原因）
- **浴室などの湿気の多い場所には設置しない**
  （故障、感電、火災の原因）
- **小さいお子様だけで使用しない**
  （やけど、けがの原因）
- **高温止水機能が働いて止水した後、復帰させて吐水するときは、最初に出る湯に触れない**
  （水栓内に溜まった高温の湯が出てやけどの原因）
- **給湯温度は85℃以上で使用しない**
  （水栓が破損し、やけどの原因）
  （漏水による財産損害発生の原因）
  ➡50℃以下での給湯をおすすめします
- **配管などの解氷のため解氷機を使用する場合、水栓や配管には絶対に通電しない**
  （水栓や配管が発熱し、火災ややけど、漏水による財産損害発生の原因）
- **寒冷地仕様の場合、配管が熱い状態で水抜き栓を開けない**
  （高温のお湯が出て、やけどの原因）

凍結防止

必ず守る

- **寒冷地仕様の場合、水抜きをする時のみ水抜き栓を開ける**
  （漏水による財産損害発生の原因）

寒冷地仕様での水抜き ➡ 21ページ



●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

火災、ショート、
感電を防ぐために

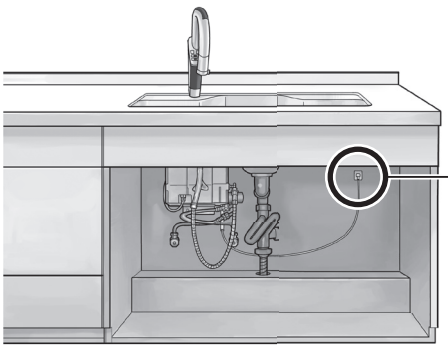
電源プラグ・コンセント

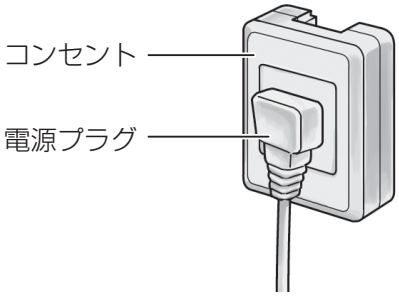
禁止

- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない**
- **電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない**
  （傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）
- **電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない**
- **雷が発生しているときは、電源プラグにさわらない**
- **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

必ず守る

- **電源は交流100Vを使用する**
  （交流100V以外を使用すると、過電流による火災の原因）
- **電源は必ず適性配線された屋内配線またはコンセントから取る**
- **電源プラグはコンセントに根元までしっかり差し込む**
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く**
  （火災、ショート、感電の原因）
- **電源プラグのほこりは、定期的にとる**
  （ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因）
  ➡電源プラグを抜いて、乾いた布でふいてください
- **長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
  （発火や水漏れ、誤動作の原因）
- **水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼する**
  （火災、ショート、感電の原因）





安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

全般

禁止

- **鋭利な物や硬いものをあてない**
  （めっきの表面が割れ、けがの原因）
- **めっきの表面が割れた場合は使用しない**
  （けがの原因）
  ➡ただちに使用を停止し、新しい部品への交換をお買い求めの販売店･工事店または「修理ご相談窓口」（裏表紙）にご依頼ください
- **給湯温度を60℃以上にしたまま、長期間使用しない**
  （部品の劣化などにより漏水して財産損害発生の原因）
  ➡50℃以下での給湯をおすすめします
- **センサー部に障害物を載せない（直接水をかけたり、ふきんを掛けたり重い物を載せたりしない）**
  （誤動作や故障およびユニット内に水が浸入する原因）
- **朝一番や長期間（まる一日以上）水栓内に滞留した水を飲用しない**
  （使い始めの水は、飲用に適さない場合があります）
- **部品交換時に水栓本体や操作部などに無理な力を加えない**
  （器具が破損して漏水による財産損害発生の原因）
- **不用意に節水センサーの感度を上げない**
  (節水モード使用時に、水が止まらなくなる原因)
- **高温の湯を使用するときは、ユニット内の湯側配管や、シャワーホースが高温のため、直接肌を触れない**
  （やけどの原因）
- **温泉水、井戸水、地下水で使わない**
  （水質によっては機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れする原因）
- **高温吐水時には、シャワー / 直流の切り替えをしない**
  （散水板付近が高温状態の場合、やけどの原因）

必ず守る

吐水するときは次の点を注意する
（高温のお湯が出て、やけどの原因）

- **ご使用の前に適温であることを確かめる**
- **湯を使用する場合、温度調整ボタンにより水側にしてから吐水し、その後、徐々に湯側に切りかえ、好みの温度に調整する**

必ず守る

- **湯を使用した後、次に使用する時、若干の温度変化があるため、湯温が安定してから使用する**
- **他所の水栓を同時使用する場合は、吐水温度の変化に注意する**
  （水圧変動がおこり、湯温が急上昇し、やけどをする原因）
- **高温の湯を使用直後に手動ハンドルを操作する際は十分注意する**
  （やけどの原因）
  ➡ 手動弁は、工具を使わず手でゆっくり回してください
- **ユニットに物を収納の際は、給水・給湯ホース、電源ボックスなどに無理な力が加わらないようにする**
  （給水･給湯ホースの外れや損傷により漏水して財産損害発生の原因）
- **止水栓や給湯配管に触れるときは配管が十分冷めてから行う**
  (やけどの原因)
- **止水栓の袋ナットをゆるめるときは、止水栓を閉めてから行う**
  （湯水が噴き出して、やけどや漏水による財産損害発生の原因）
- **給水･給湯ホースの取り付けは、確実に行う**
  （漏水による財産損害発生の原因）
- **定期的に、配管周り（ユニット内、配管カバー内など）の水漏れや、水栓本体取付部のがたつきがないか確認する**
  （劣化・摩耗などで部品が破損し、やけどやけがをしたり、漏水による財産損害発生の原因）
- **定期的に、水栓本体を左右に回転させる**
  （回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなることがあります）
  （無理に回すと漏水による財産損害発生の原因）
- **逆止弁は、早めの点検・交換を行う**
  （逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する原因）
  ➡ 点検･交換はお買い求めの販売店･工事店または「修理ご相談窓口」（裏表紙）にご依頼ください

漏水、やけど、けがを防ぐために

シャワーヘッド・シャワーホース

禁止

- **水栓本体・シャワーヘッドに無理な力を加えない**
  （重い物をぶら下げる・よりかかる・物をぶつける・物を落とすなど）
  （漏水、やけどの原因）
- **吐水口部を回しすぎない**
  （シンクの外に吐水が飛び出す場合があります）
  （漏水、やけどの原因）
- **吐水口に汚れた手で触れたり、シャワーヘッドを水中に没するような使い方はしない**
  （吐水口周辺に一般細菌が増えやすくなり、体調を損なう原因）
- **シャワーホースを引き出しすぎない**
  （シャワーホースが戻しにくくなったり、ホース損傷により漏水して財産損害発生の原因）
- **シャワーホースを引き出して使うときは、シャワーヘッドやシャワーホースを水につけたり、水につけたまま放置したりしない**
  （水がシャワーホースを伝ってユニット内に浸入したり、水が逆流する原因）
- **高温の湯を使うときはシャワーホースに直接ふれない**
  (やけどの原因)

禁止

- **シャワーホースに無理な力を加えない（極端に曲げたり（曲げ半径60mm以下）引っ張ったりしない）**
  （亀裂や破損を起こし、漏水して財産損害発生の原因）
- **シャワーホースやホース引出口に水をかけない**
  （水がシャワーホースを伝ってユニット内に浸入する原因）

必ず守る

- **シャワーヘッドの掃除をする場合、止水してから散水板などを取り外す**
  （止水せずにゆるめると、湯水が噴出して、やけどやけがをしたり、漏水による財産損害発生の原因）
- **シャワーヘッドを収納する場合は、ゆっくりと戻す**
  （手を挟んだり、操作ケースが破損する原因）
- **シャワーホースは引っ掛けたり、ねじらないように接続する**
  （シャワーホースが引き出しにくくなったり、破損により漏水して財産損害発生の原因）
- **シャワーホース接続後、スライダーが上がっていること、カプラーを真下に引っ張って外れないことを確認する**
  （確実に接続されていないと、漏水による財産損害発生の原因）

凍結防止

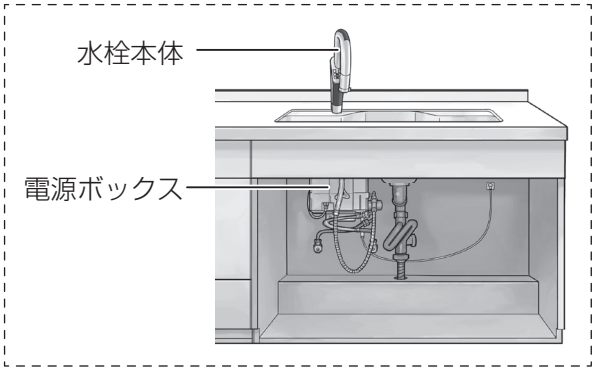
必ず守る

- **凍結が予想される際は、配管と水栓を水抜きするなどの凍結予防をする**
  （部品が破損し、漏水による財産損害発生の原因）
  （凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります）
  ➡ 寒冷地用の場合は20ページを参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください
- **凍結防止のために給湯側止水栓を操作する場合、やけどに注意する**
  （器具内に滞留していた高温の湯によるやけどの原因）

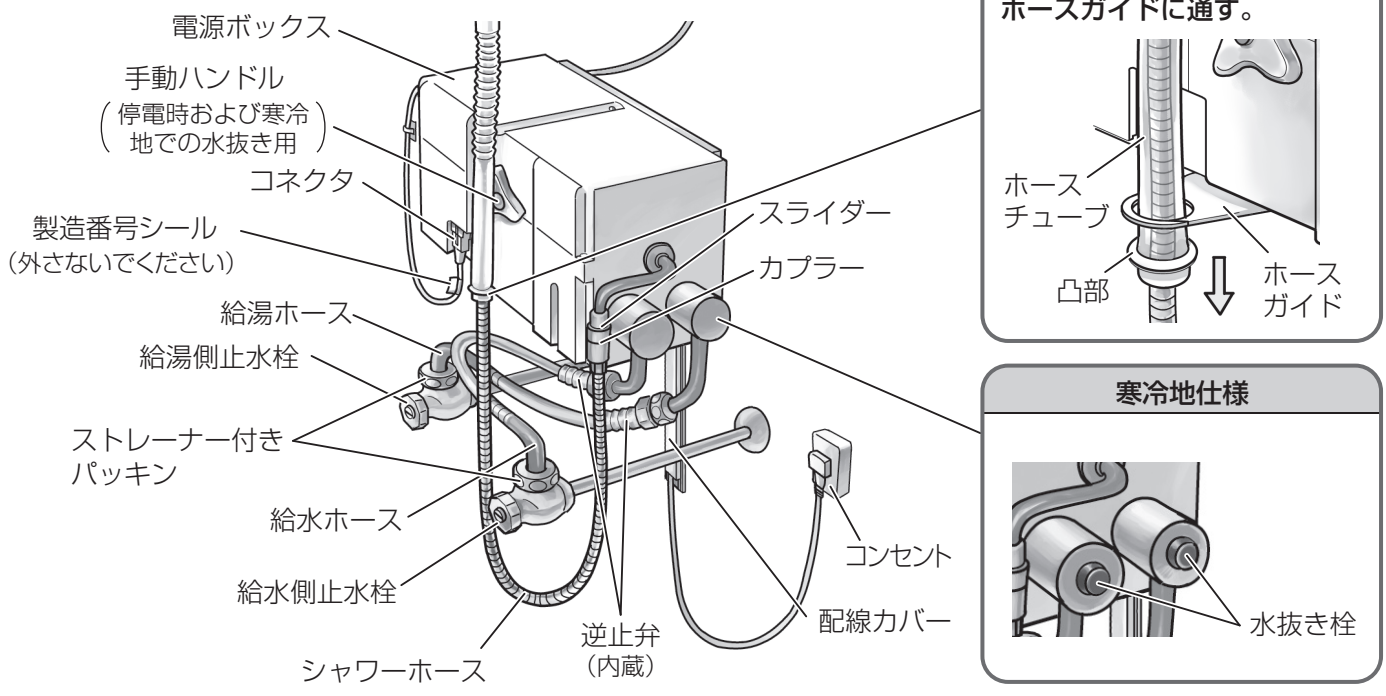
各部の名前

一般地仕様を例に説明しています。

水栓本体



電源ボックス

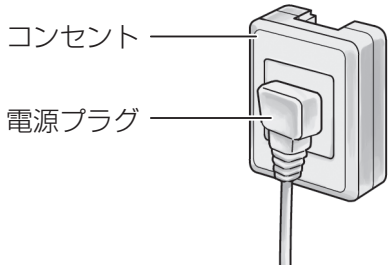


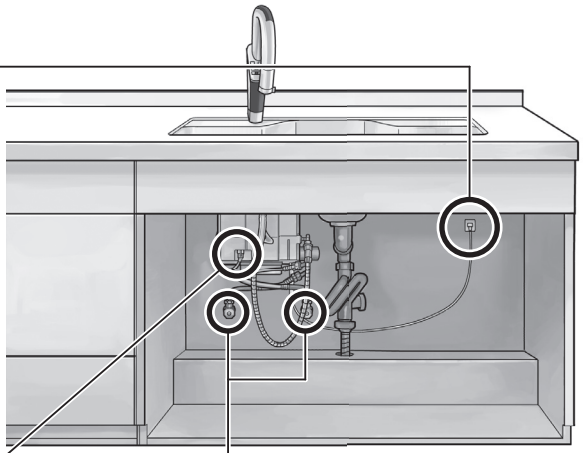
ご使用の前に

確認する

電源プラグ

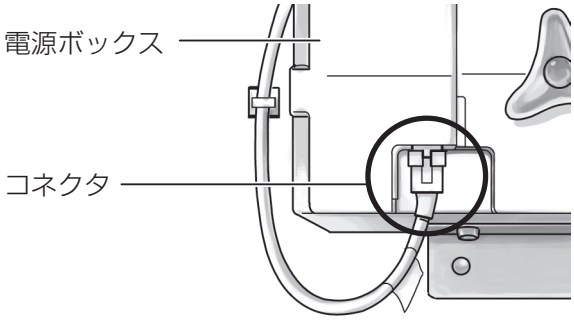
コンセントに電源プラグが根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。





コネクタ

電源ボックスにコネクタが確実に接続されていることを確認してください。

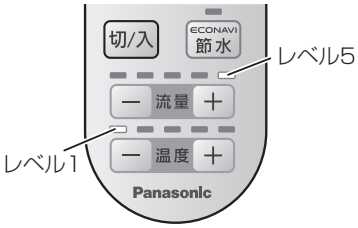


止水栓

水側全開時、湯側全開時それぞれの場合でシャワー吐水の流量が約8L/min（1リットルの容器をいっぱいにするのに7～8秒）になるか確認してください。なっていない場合は14ページの「止水栓での流量調整方法」にしたがって調整してください。

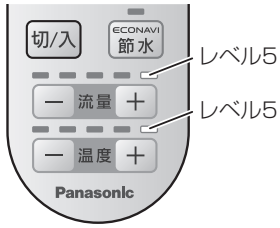
水側全開時

流量：レベル5
温度：レベル1



湯側全開時

流量：レベル5
温度：レベル5



給湯器と組み合わせてご使用の場合

●安全のため、給湯器は設定温度を50℃以下にしてご使用ください。
不意に熱い湯が出てやけどをするおそれがあります。

●最適な温度範囲をレベル２～４（湯水混合）で調整してお使いいただくために、給湯設備の設定温度は４２℃前後で設定してください。

●能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合がありますので注意してください。（瞬間型の場合）

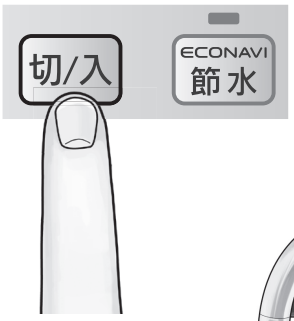
直圧式給湯器の場合

●給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
このときは、給湯器の設定温度（能力切替付きは能力）を少し下げて試してください。（瞬間型の場合）

手をかざすだけで
水が出る

通常モード

1 電源を入れる

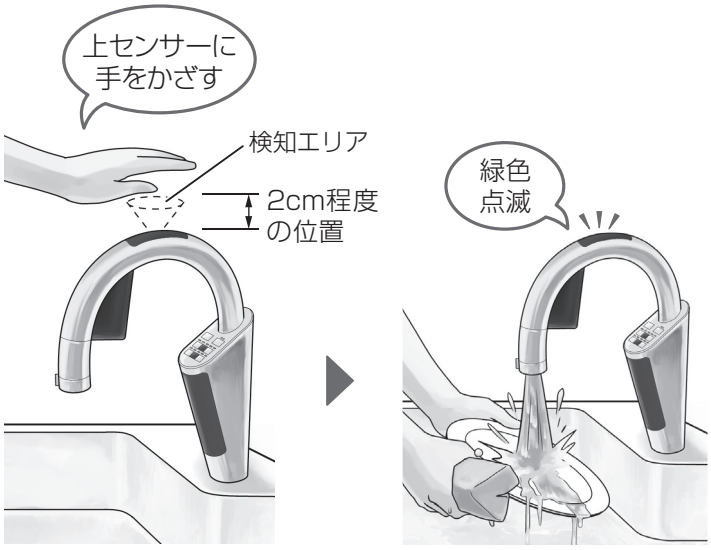


⚠注意

必ず守る

- **ご使用の前に適温であることを確かめる**
  （高温の湯が出てやけどの原因）

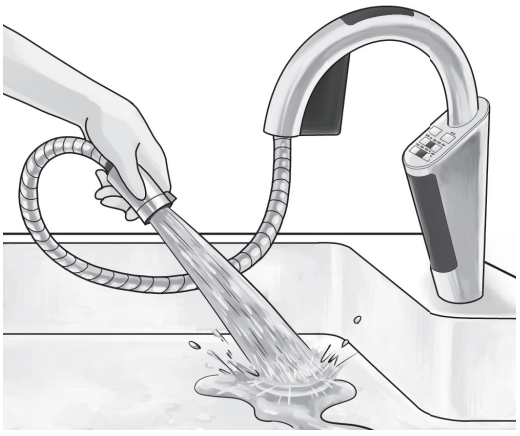
2 湯水を出す



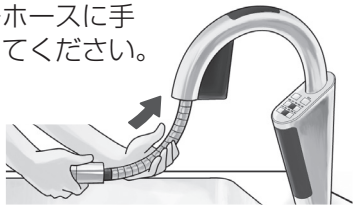
下記の場合、自動で水が止まります

- 5秒以上、手や物が上センサーの検知エリア内にあるとき（誤作動防止）
- 10分間連続で湯水が出ているとき（止め忘れ防止）

シャワーホースを伸ばす



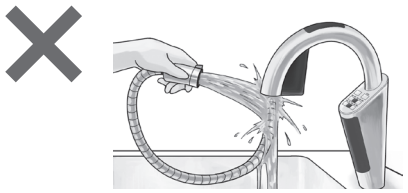
シャワーホースを収納するときはシャワーホースに手を添えて収納してください。



⚠注意

禁止

- **シャワーホースやホース引出口に水をかけない**
  （シャワーホースやホース引出口に水がかかると、水がシャワーホースを伝ってユニット内に浸入して漏水の原因）



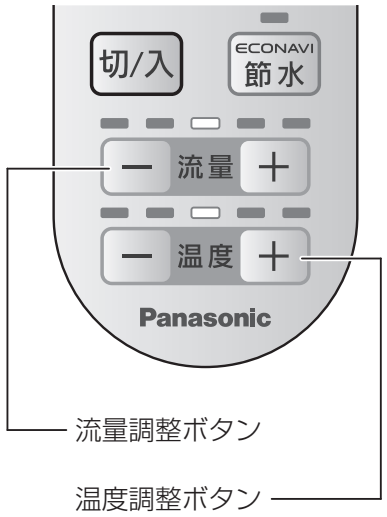
- **高温の湯を使うときはシャワーホースに直接ふれない**
  （シャワーホースが高温になり、やけどの原因）

お願い　シャワーホースを無理に引っぱらないでください。
配管が変形したり、シャワーホースが収納できなくなります。

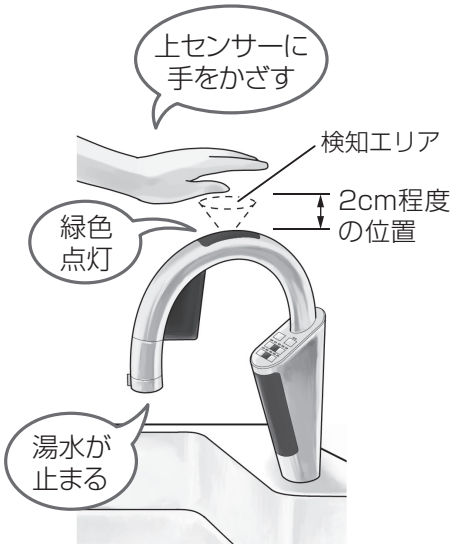
流量/温度調整のしかた

流量調整ボタン、温度調整ボタンで調整してください。

詳しい調整方法は14·15ページをお読みください。



3 湯水を止める

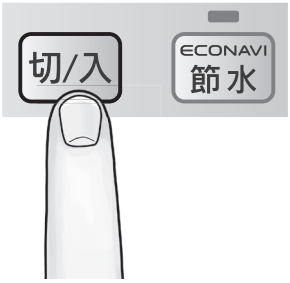


お願い

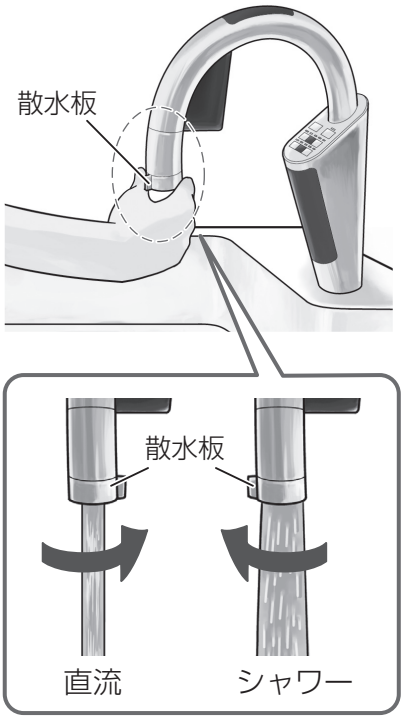
検知エリアに障害物を置かないでください。

誤検知の原因となります。

4 電源を切る



シャワー・直流を切り替える



⚠注意

禁止

●高温吐水時には、シャワー / 直流の切り替えをしない

（散水板付近が高温状態の場合、やけどの原因）

お願い

●散水板は確実にシャワー位置、もしくは直流位置に切り替えてください。
中間位置で止めると水が飛びはねるおそれがあります。

●流量が少ない場合は、きれいなシャワー吐水になりません。
4L/min以上の流量でご使用ください。

●流量をレベル1から5に上げた場合と、レベル5から1に下げた場合では、シャワーの出方が変わる場合があります。
シャワーがきれいに出ない場合は止水栓を開けてご使用ください。

シャワーヘッドからの水滴について

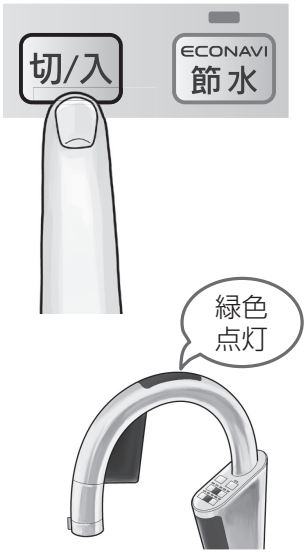
●止水したとき、シャワーヘッドから水滴が落ちることがあります。これはシャワーヘッド内に滞留している水で異常ではありません。

●他所の水栓などを使用するとシャワーヘッドから水滴が落ちることがあります。これは水栓本体にかかる圧力を逃すためで、異常ではありません。

使うときだけ水が出る

節水モード（エコナビモード）

1 電源を入れる



2 節水ボタンを押す

3 洗い物をかざす

10分間連続で湯水が出ると、自動で止まり、「通常モード」に切り替わります。
（止め忘れ防止）

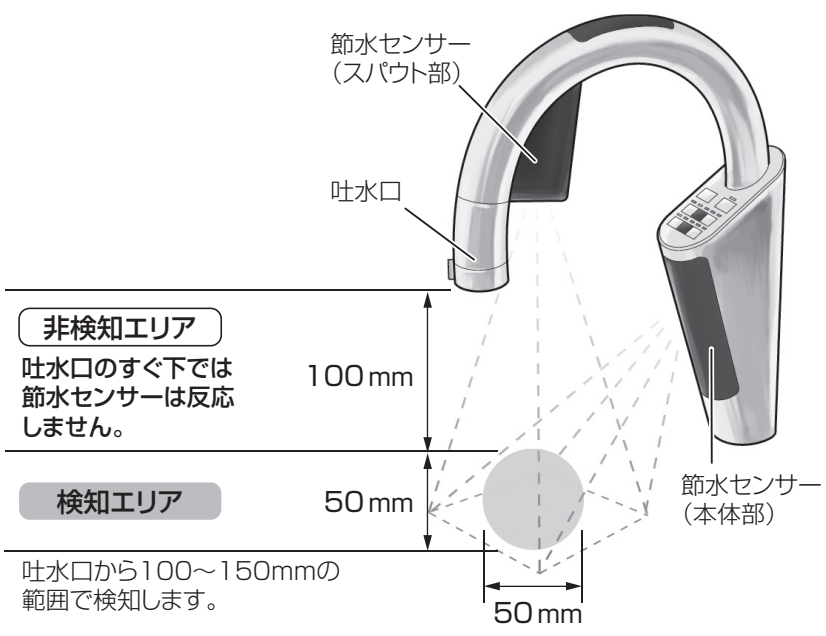
⚠注意

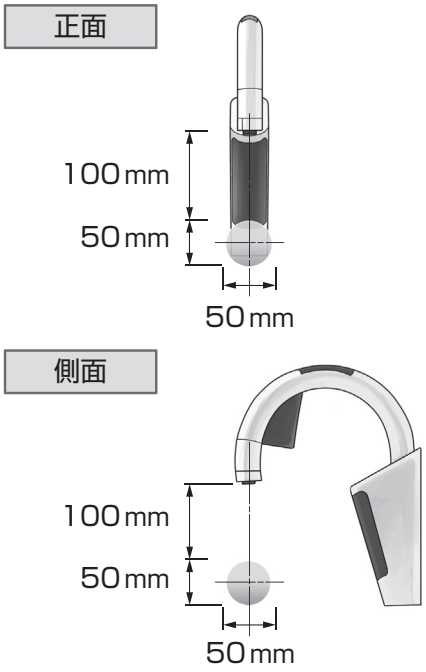
必ず守る

●ご使用の前に適温であることを確かめる

（高温の湯が出てやけどの原因）

節水センサーの検知エリア





●シンクや照明器具の種類、部屋の明るさによって節水センサーの感度が異なります。

●節水センサーの感度調整が必要な場合は、操作パネルボタンで調整してください。（詳しくは17ページをご参照ください。）

ボタンを押すと節水（エコナビ）モードに。通常モードよりさらに節水。

食器のすすぎ洗いに　食器洗い機に入れる前の予備洗いに

4 洗い物を離す

お願い

検知エリアに障害物を置かないでください。

誤検知の原因となります。

5 節水モードを解除する

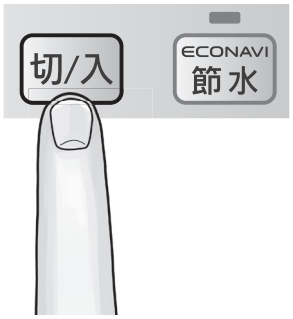
節水ボタンを押す

または

上センサーに手をかざす

待機状態で15分間経過しても通常モードに切り替わります。

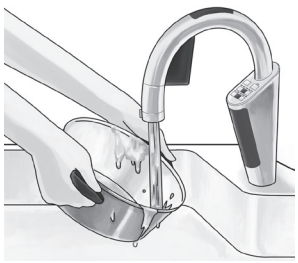
6 電源を切る



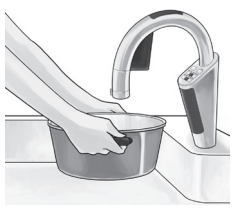
上手に使うポイント

鍋やフライパン

○ 節水センサー（本体部）に向ける

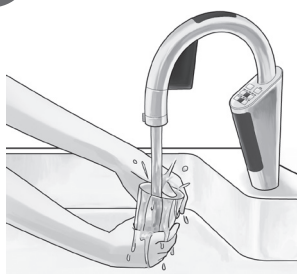


×



ガラス類や湯のみ

○ 手をそえる



×

はしやスプーン

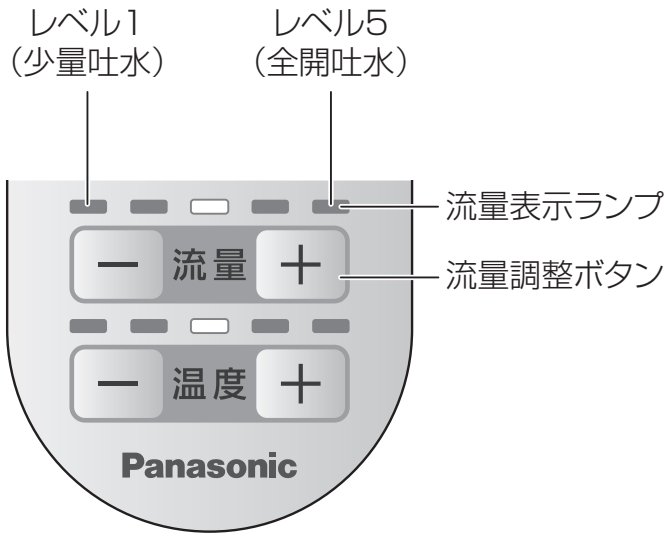
○ 手をそえる

×

透明な材質のコップや皿、湯のみ、菜ばしやスプーン、鍋など、材質や大きさによって、節水センサーが検知しにくいことがあります。
節水センサーの検知エリアに手が入るようにしてお使いください。

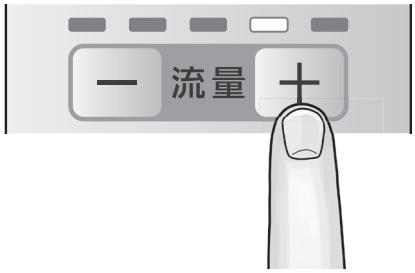
流量/温度の調整

流量を調整する

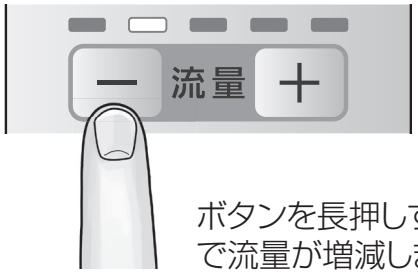


※「－」ボタンを5秒以上長押しすると「凍結防止モード（20ページ）」に設定されます。

■流量を増やす



■流量を減らす



ボタンを長押しすると連続で流量が増減します。

レベル1（一番左側）では、約1L/minの水が出ます。麦茶を冷やすときなど、少量吐水で使いたい場合にご使用ください。※この流量ではシャワーになりません。

上手に使うポイント 凍結防止モード（20ページ）にすると、10分連続使用後の自動止水が一時的に解除され少量吐水での連続使用（最大約8時間）ができます。

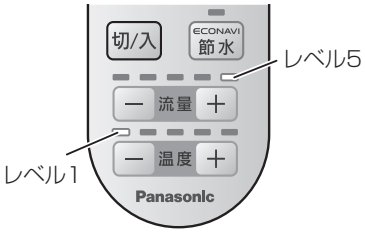
■止水栓での流量調整方法

水側調整時、湯側調整時に下記の状態にして、それぞれの場合でシャワー吐水の流量を約8L/minとなるように止水栓で調整してください。

（流量調整の目安：1リットルの容器をいっぱいにするのに7～8秒）

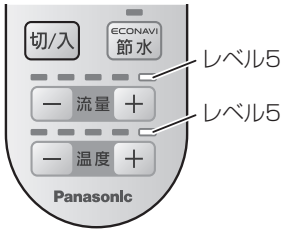
水側調整時

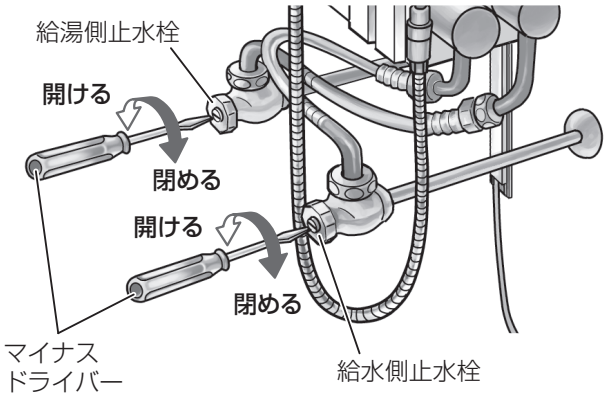
流量：レベル5
温度：レベル1



湯側調整時

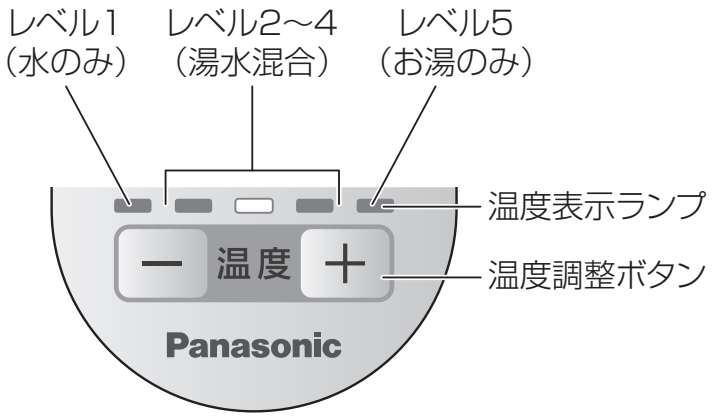
流量：レベル5
温度：レベル5





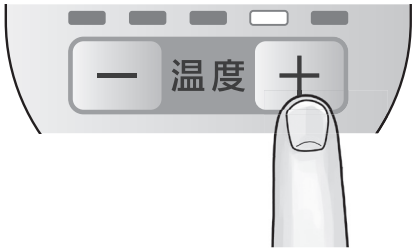
流量/温度はレベル1～5の5段階で調整ができます。

温度を調整する



※停電時や電源プラグを抜いた場合は
直前の設定がリセットされます。

■温度を上げる



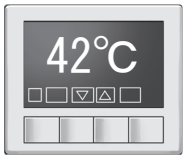
■温度を下げる

ボタンを長押しすると連続
で温度が上下します。

給水圧力が高い場合や、給水圧力と給湯圧力に差がある場合で、給湯器の設定温度が高い時は、適温（約37～42℃）での温度調節がうまくできないことがあります。

上手に使うポイント 14ページの「止水栓での流量調整方法」にしたがって流量を調節して、給湯設備の設定温度を下げてお使いください。

給湯設備



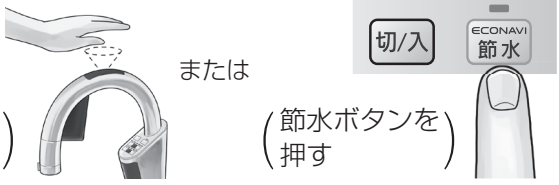
節水モードでは、安全のため高温のお湯（約55℃以上）が出ないように設定されています。

高温のお湯（約55℃以上）を出すと、お湯が止まり、温度表示ランプが点滅します。
給湯温度を50℃以下に設定してください。

高温のお湯（約55℃以上）をお使いになる場合は通常モードでお使いください。

※通常モードでも高温のお湯（約55℃以上）を使っている間は温度表示ランプが点滅します。（水温が約40℃以下に下がると点灯状態になります。）

通常モードへの切り替えかた



使用上のお願い

センサーについて

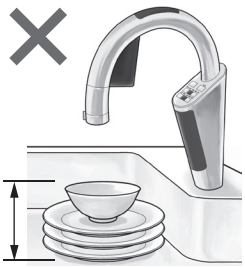
次のような場合、正常に動作しない場合があります。

日光が当たる場所で使用しない。

日光を遮ってください。

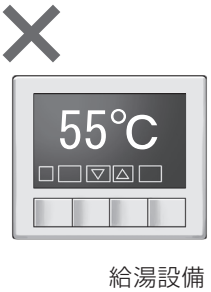
水栓の下に洗い桶や濃色調理具、濃色食器を置かない。

シンク底辺から7cm以上積み上げない。



節水モードでお湯を55℃以上にしない。

給湯設備の設定温度を50℃以下にしてください。



給湯設備

シャワーヘッドやセンサー部を汚れたままにしない。

シャワーヘッドは歯ブラシなどで、センサー部は柔らかい布でお手入れしてください。

シャワーヘッド

センサー（本体部）

センサー（スパウト部）

排水部や水切りプレート、カウンター面などに吐水口を向けない。

吐水口をシンク面に向けてください。

- 赤外線を発する機器を近づけると誤作動する場合があります。機器を水栓から遠ざけてください。
- 照明器具の種類や、部屋の明るさによって、センサーの感度が異なることがあります。
- 高温の湯を出したり、やかんや鍋の湯をシンクに捨てるなど、水栓金具のまわりに湯気が立ち上る時は、次のような状態で使用すると誤作動を起こすおそれがあります。
  - ・吐水口下のシンク底面に皿などを置く
  - ・排水プレートを外して使用する
- 昇降ユニットが降りた時にセンサーが検知する場合、水栓本体を回してからユニットを降ろしてください。その際、吐水口がシンク外に飛び出さないようにしてください。

その他

- 家庭用です。一般住宅でご使用ください。
- 電源の切／入や、流量･温度調整時に動作音がしますが、故障ではありません。
- 水栓本体部は左右の振れがありますが、故障ではありません。
- シャワーホース、シャワホースパッキン、散水板やストレーナーなどは消耗品です。使用劣化により交換が必要になります。（有料です。詳しくは28･29ページ参照）
- 水を出し止めしたときに、動作音がする場合があります。これは、水栓の開閉により発生する音で、故障ではありません。止水栓の調整により、流量をしぼる、または、市販の減圧弁で0.2～0.3MPaに減圧することで、音を低減させることができます。減圧弁の部品の購入、取り付けはお買い求めの販売店･工事店にご連絡ください。

節水センサーの 感度調整

● シンクや照明器具の種類、部屋の明るさによって、節水センサーの感度が異なることがあります。

● 感度は、操作パネルのボタンを使って調整することができます。
「故障かな?」(30・31ページ)の内容をご確認のうえ、必要に応じて感度調整を行ってください。

感度を上げる

● 節水モード使用時に洗い物をかざしてもセンサーの反応が悪い場合など

感度を上げすぎると節水モード使用時に水が止まらなくなることがあります。

感度を下げる

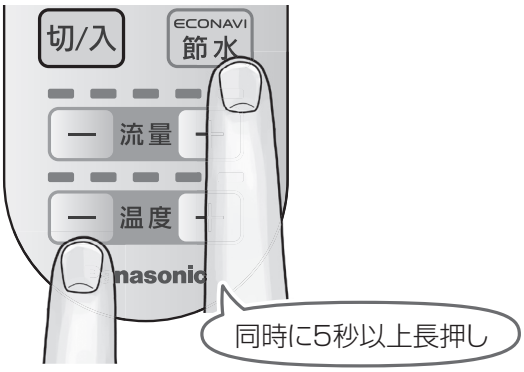
● 節水モード使用時に吐水が止まらない場合など

感度を下げすぎると節水モード使用時に水が出たり、止まったりを繰り返すおそれがあります。

● 停電時や電源プラグを抜いた場合には、直前の設定が記憶されます。
● 10秒間操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。

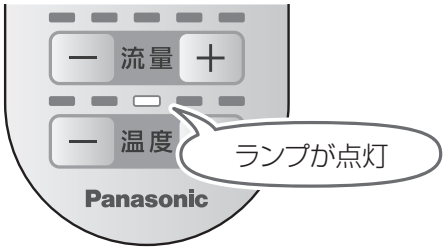
1 電源を切る

2 節水ボタンと温度調整ボタン「−」を同時に5秒以上長押しする



3 温度表示ランプが点灯したことを確認する

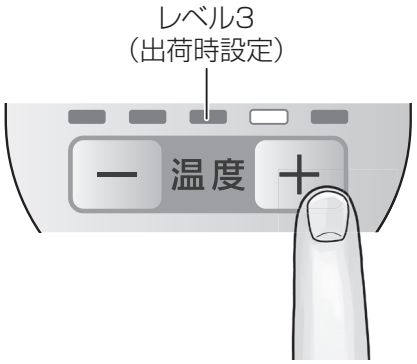
※出荷時の設定はレベル3になっています。



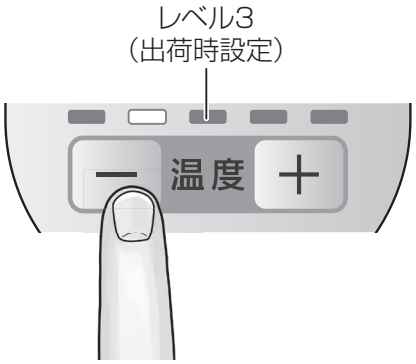
節水センサーの感度調整

4 温度調整ボタンを押して、節水センサーの感度を調整する

■感度を上げる



■感度を下げる



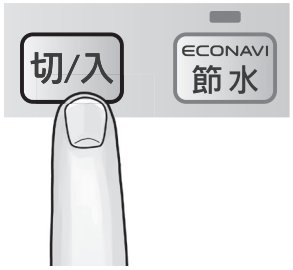
⚠注意

禁止

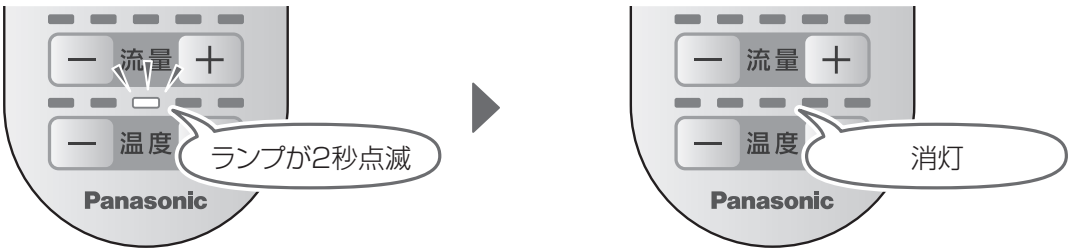
●不用意に節水センサーの感度を上げない

（節水モード使用時に、水が止まらなくなる原因）

5 感度を調整後、切／入ボタンを押す

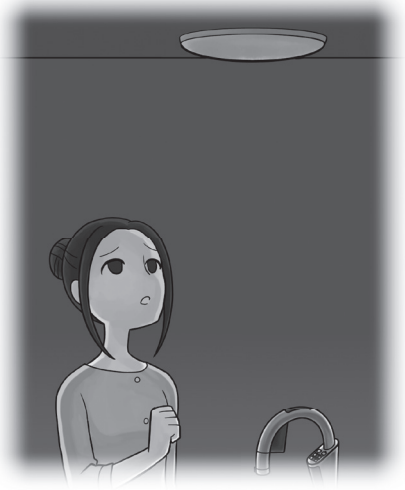


6 温度表示ランプが、調整したレベルの位置で約2秒点滅した後、消灯したことを確認する



停電時および故障時の 応急対応

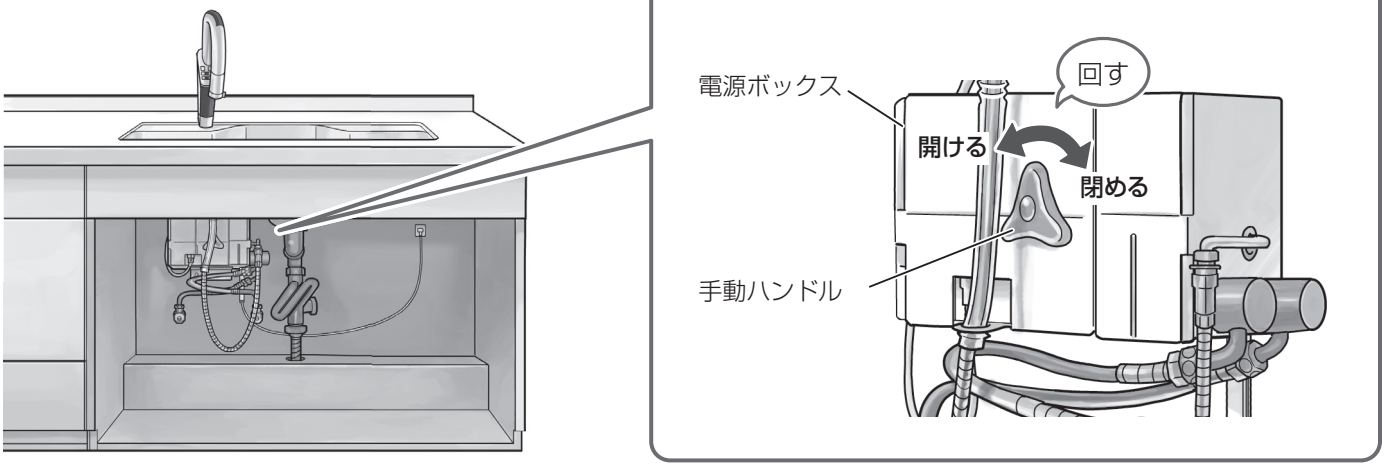
停電時や故障時には、復帰するまでの応急処置として、電源ボックス正面の手動ハンドルを開閉することで、水側のみ吐水・止水ができます。



停電時

故障時

電源ボックスの手動ハンドルを回して吐水・止水を行うことができます



⚠注意

必ず守る

- **高温の湯を使用直後に手動ハンドルを操作する際は十分注意する**

（やけどの原因）

（手動ハンドルは、工具を使わず手でゆっくり回してください）

お願い

- 手動ハンドルは応急対応時のみ開けてください。
  使用後は、右にいっぱい回して確実に閉めてください。

凍結防止

⚠注意

必ず守る

●凍結が予想される際は、配管と水栓を水抜きするなどの凍結予防をする

（部品が破損し、漏水による財産損害発生の原因）
（凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります）
（寒冷地用の場合は右ページを参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください）

●水栓が凍結した場合、止水栓接続部や電源ボックスより水漏れが発生するおそれがあり、部品または水栓本体の交換が必要となりますので、ご注意ください。

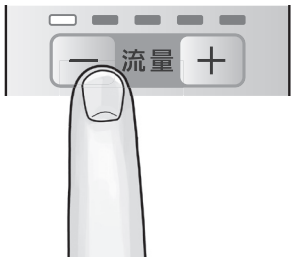
●凍結による破損は、保証期間内でも有料修理になります。

●長期間使用しない場合は、急な冷え込みに備えて、凍結予防を行ってください。

●配管部などに保温効果のあるものを巻いておく。

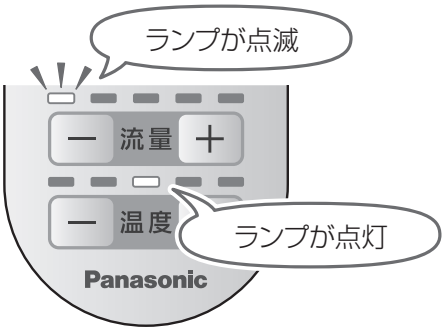
凍結防止モードの設定（一般地仕様・寒冷地仕様 共通）

1 流量をレベル1にする

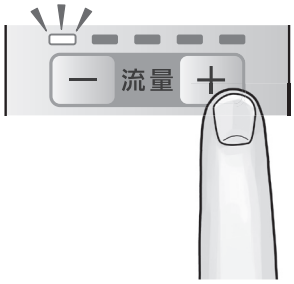


2 流量調整ボタン「－」を5秒以上長押しする

3 流量表示ランプがレベル1の位置で点滅、温度表示ランプがレベル3で点灯したことを確認する



4 流量調整ボタンを押しながら、水栓から少量の水が出るように調整する



水量の目安
1分間に牛乳ビン
1本分程度（約200ml）

凍結防止モードの解除

●設定後、約8時間で自動的に解除されます。

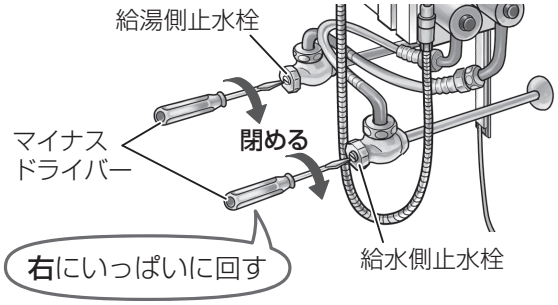
●途中で解除するときは、電源を切り入りするか、流量をレベル5になったことを確認して流量調整ボタン「+」を5秒以上長押ししてください。

●解除されると、流量表示ランプが点灯して通常モードに戻ります。

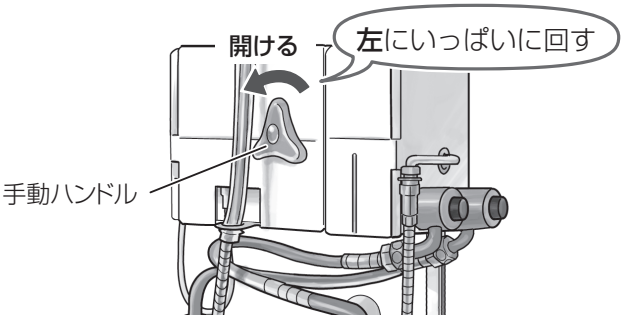
寒冷地仕様での水抜き

給水元に水抜き栓がある場合は、元栓を閉めて配管の水抜き作業を行ってから水栓の水抜きを行ってください。

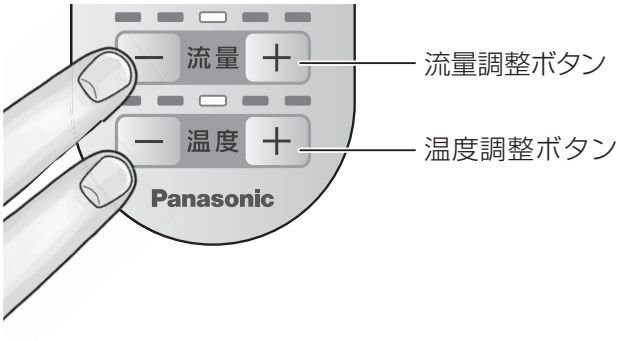
1 水側・湯側の止水栓の水量調整弁を閉じる



2 手動ハンドルを左いっぱいに開ける

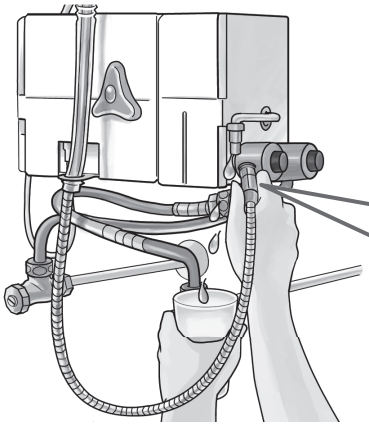


3 流量、温度をレベル3に合わせる



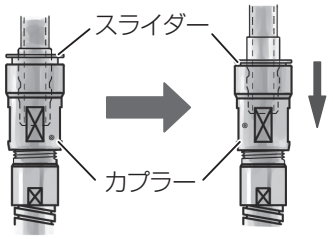
4 上センサーに手をかざして吐水状態にする

5 シャワーホースを外し水を抜く



水を抜くときは水受けやタオルなどで水を受けてください。

スライダーを押し込みながらカプラーを外す。

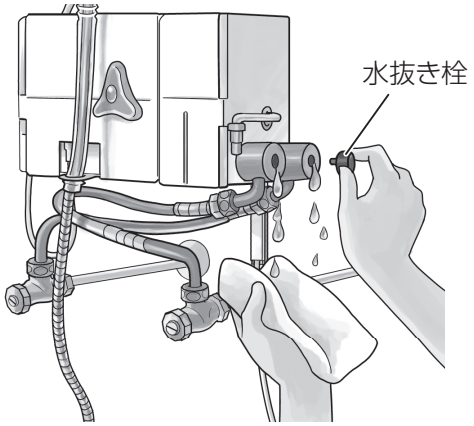


取り外し後、カプラーを下に向けて水を抜く。

約55mlの水が出ます。

6 電源ボックスの水抜き栓を左に回して取り外す

水抜き栓は2か所（給湯側･給水側）あります。

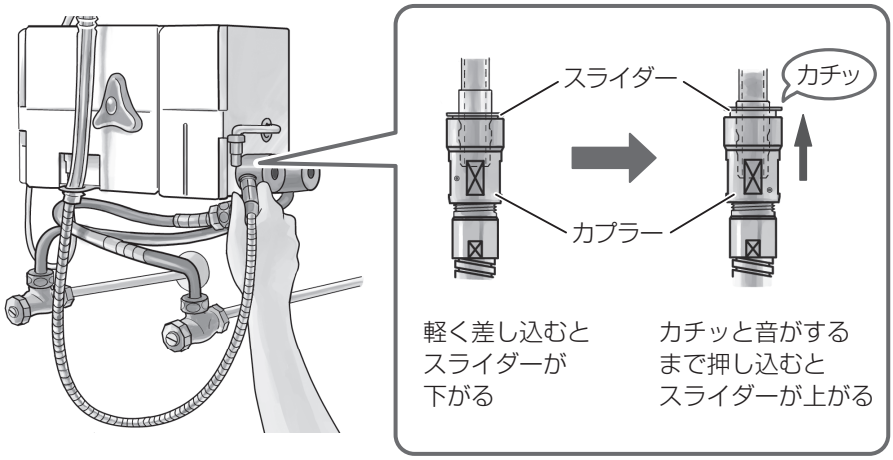


水を抜くときはタオルなどで水を受けてください。約50mlの水が出ます。

凍結防止

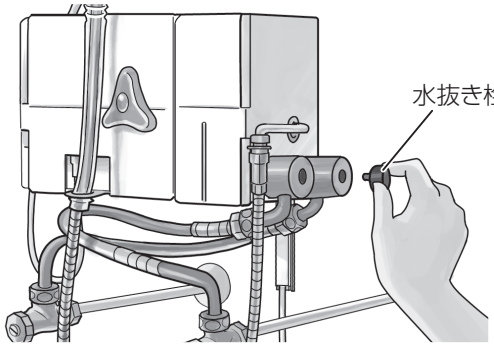
7 シャワーヘッドを振って中の水を抜く

8 水が抜けたらシャワーホースを取り付ける

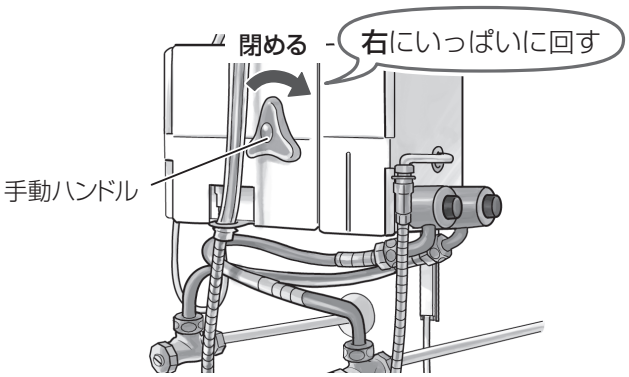


9 水が抜けたら水抜き栓を右に回して取り付ける

水抜き栓は2か所（給湯側・給水側）あります。



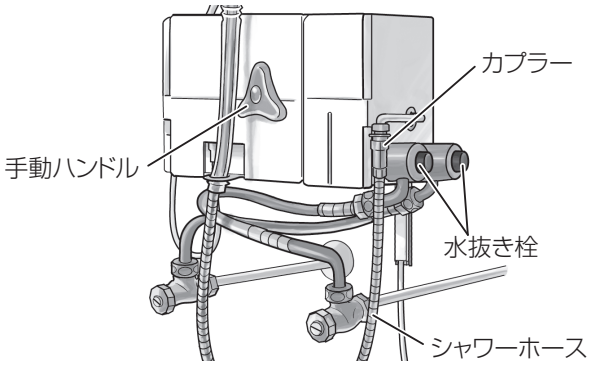
10 手動ハンドルを右いっぱいに閉める



■通水再開のしかた

- ●必ず、電源ボックスの水抜き栓および手動ハンドルが閉まっていることを確認してください。
- ●シャワーホースのカプラー部分が正しく取り付けられていることを確認してください。
- ●電源を切って（水が出ない状態にして）から水側・湯側の止水栓の水量調整弁を開けて、通水を再開してください。

※ご使用の前に止水栓での流量調整（14ページ）を行ってください。



通水を再開しても水が出ない場合

電源を入れ、上センサーに手をかざして（吐水状態にして）、しばらくお待ちください。
これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

お手入れのしかた

使用する洗剤・道具

○ 使える洗剤・道具

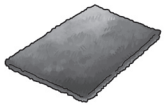
柔らかい布

スポンジ

台所用洗剤
（中性）

柔らかい毛の
歯ブラシ

× 使えない洗剤・道具


ナイロンたわし

みがき粉・
研磨剤入り洗剤

シンナー・
ベンジン

酸性洗剤・
アルカリ性洗剤・
塩素系洗剤・
漂白剤

日常のお手入れ

水栓本体・センサー

柔らかい布でからぶきする。

汚れているとき

柔らかい布に適量の薄めた台所用洗剤(中性)をしみ込ませ、ふき取る。
洗剤が残らないようしっかり水ぶきしてください。

シャワーヘッド

歯ブラシなどで汚れを取る。

お願い

- **水栓やセンサーの表面を傷つけるおそれのあるものは使用しないでください。**
  センサー表面に傷がつくと、誤動作の原因となります。
- **センサーの表面に付いた汚れや洗剤はよくふき取ってください。**
- **センサー部や操作パネル部にふきんをかけたり重いものを載せたりしないでください。**
- **センサー部や操作パネル部に直接水をかけないでください。**
  誤動作や故障の原因となります。
- **すき間などの取れにくい汚れは、やわらかい歯ブラシを使って取ってください。**
  つまようじやナイロンタワシなどは使用しないでください。
  傷の原因や水栓内部に水が浸入するおそれがあります。

お手入れのしかた

定期的なお手入れ

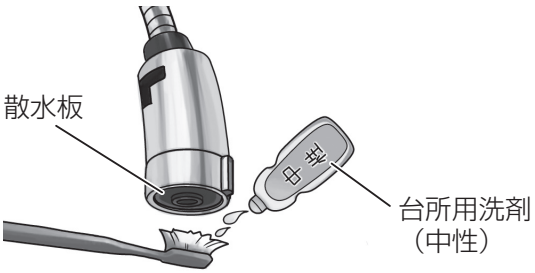
水の出が少なくなったとき/水が止まらなくなったとき

吐水口（ストレーナー、散水板）を清掃する

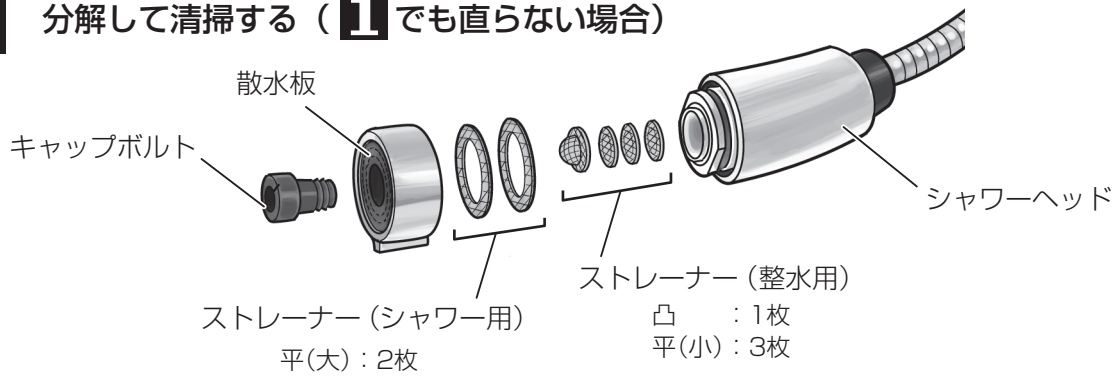
- ストレーナーにごみや水あかなどが詰まると、水の出が少なくなったり、吐水の乱れや水切れが悪いなどの現象が起こります。
- 長年お使いいただくと、ストレーナーや散水板は使用劣化により交換が必要になります。（有料です。詳しくは28ページ参照）
- 散水板に水あかなどの汚れがつくと、吐水が乱れ、節水モード使用時にセンサーが誤作動して水が止まらなくなる場合があります。

1 **分解せずに清掃する**

散水板を台所用洗剤（中性）をつけたブラシでこすり、水洗いする



2 **分解して清掃する（ 1 でも直らない場合）**

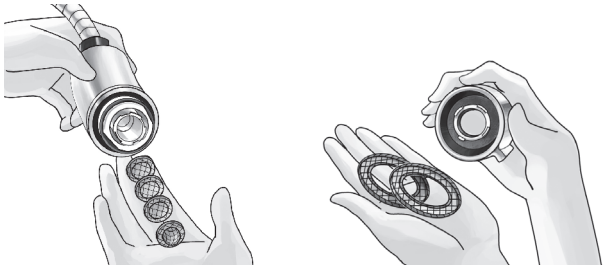


お願い
- 分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。
- シャワーヘッド内部に、ストレーナーなどの部品が残って出てこない場合は、手で受けながらシャワーヘッドを振るなどして取り出してください。
  ※ストレーナーが出てこない場合は、マイナスの精密ドライバーや安全ピンなどで、ストレーナーを引っ掛けて取り出してください。
- 取り付け後、水を出して接続部から水漏れがないか確認してください。

1 **キャップボルトを外す**

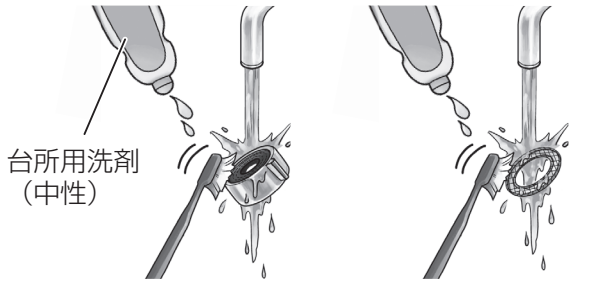
2 **散水板を外す**

3 ストレーナーを外す

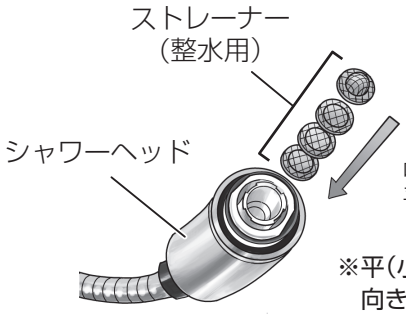


4 散水板、ストレーナーを洗う

台所用洗剤（中性）をつけたブラシでこすり、水洗いする

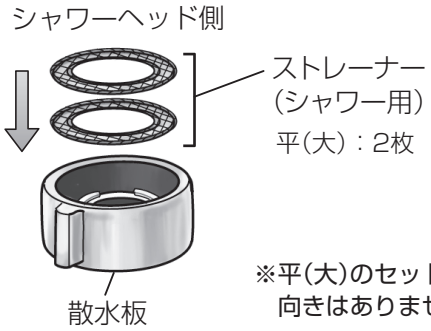


5 ストレーナー（整水用）をシャワーヘッドにセットする



※平（小）のセット時の向きはありません。

6 ストレーナー（シャワー用）を散水板にセットする



※平（大）のセット時の向きはありません。

7 散水板をシャワーヘッドに取り付ける

凹凸の位置があっていることを確認する

8 キャップボルトを取り付ける

止水時の水滴について

お手入れをしても、水を止めた直後にシャワーから水がポタポタ落ちることがありますが、これはシャワーヘッドの中の残留水です。異常ではありません。

点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検および

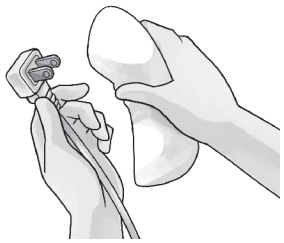
定期的な点検

定期点検で問題があった場合は、ただちに使用を停止し、修理ご相談窓口（裏表紙）に連絡してください。

月1度

電源プラグ

電源プラグをコンセントから抜き、ほこりを乾いた布でふく。



⚠警告

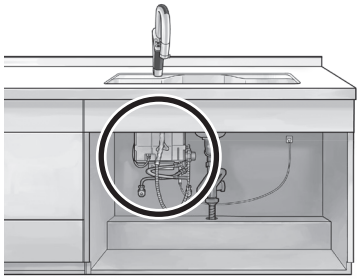
必ず守る

●電源プラグのほこりは、定期的にとる

（ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因）

配管周り

水漏れやがたつきがないか確認する。



⚠注意

必ず守る

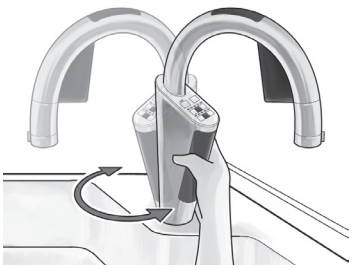
●定期的に、配管周り（ユニット内、配管カバー内など）の水漏れや、水栓本体取付部のがたつきがないか確認する

（劣化・摩耗などで部品が破損し、やけどやけがをしたり、漏水による財産損害発生の原因）

水栓本体

水栓本体取付部のゆるみがないか確認する。

水栓本体を左右に回転させる。
回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなることがあります。



めっきの表面が割れていないか確認する。

部品交換を行ってください。

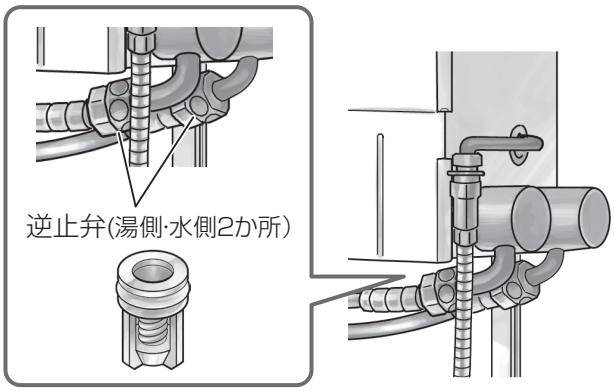
3年ごと

逆流防止装置（逆止弁）

●この水栓は、本体に逆流防止装置（逆止弁）を内蔵し、シャワーホースや配管内の湯水が逆流するのを防いでいます。

●3年ごとの点検をおすすめします。（有料）

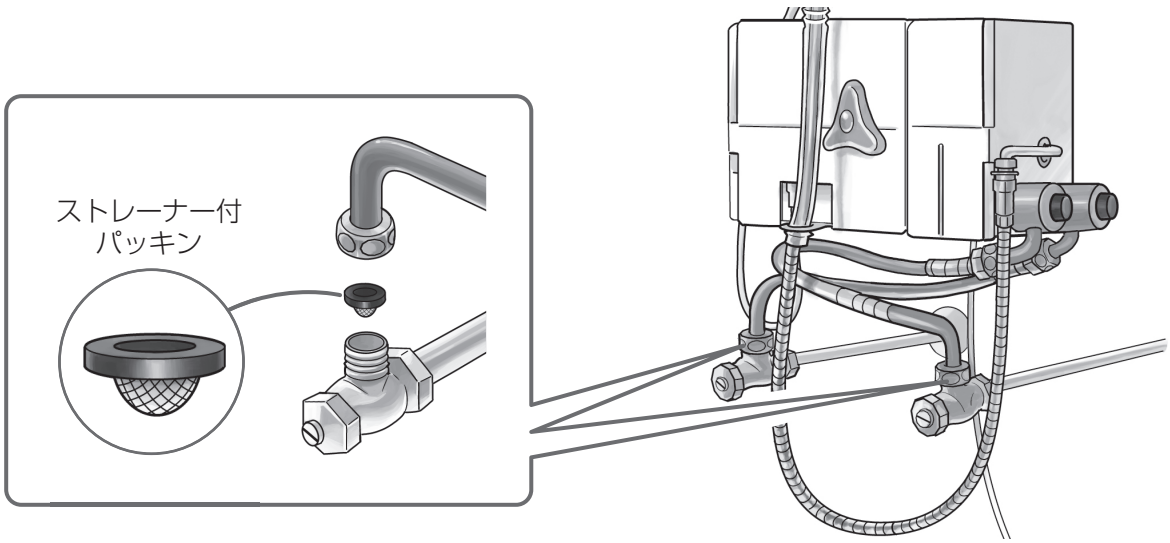
●点検については、「修理ご相談窓口（裏表紙）」にお問い合わせください。



吐水口の清掃をしても水の出が悪い場合

ストレーナー付パッキンを清掃する

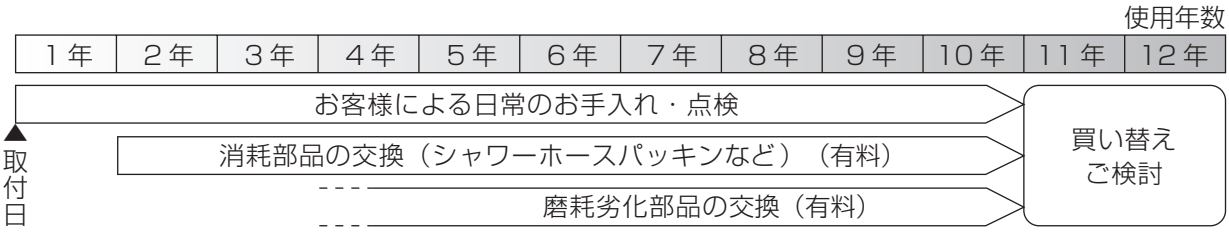
流量が少なくなった場合はストレーナー付パッキンのごみ詰まりが考えられます。
修理ご相談窓口（裏表紙）へご連絡いただき、点検・清掃のご依頼をお願いします。（有料）



消耗品と交換部品

定期的な部品交換

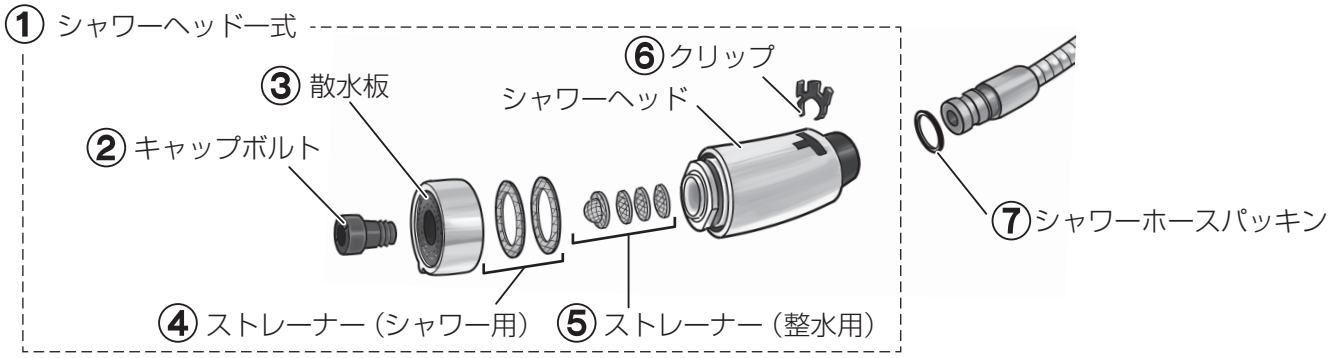
●長年お使いいただくと、部品が摩耗劣化して水漏れが発生するおそれがあります。
●水漏れが発生した場合、劣化した部品の注文・交換を行ってください。
●消耗品・交換部品の購入は、お買い求めの販売店・工事店または、ハイ・パーツショップ（裏表紙）にご連絡ください。（お客様自身で交換が困難な場合、または交換されても水漏れが止まらない場合は、修理ご相談窓口（裏表紙）にご連絡ください。）



交換部品のご案内

●部品が磨耗劣化すると、水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
●部品の破損や紛失などの場合は、下記の部品をご購入ください。

品番	品名	備考
① SEE10TUA01	シャワーヘッド一式	
② SEE10TUA02	キャップボルト	
③ SEE10TUA03	散水板	
④ SEE10TUA04	ストレーナー（シャワー用）	平（大）2枚
⑤ SEE10TUA05	ストレーナー（整水用）	凸 1枚 + 平（小）3枚
⑥ SEE10TUA06	クリップ	
⑦ SEE10TUA07	シャワーホースパッキン	消耗品



水漏れが発生した場合の対応

部位A **：シャワーヘッドとシャワーホースの連結部から水漏れする場合**

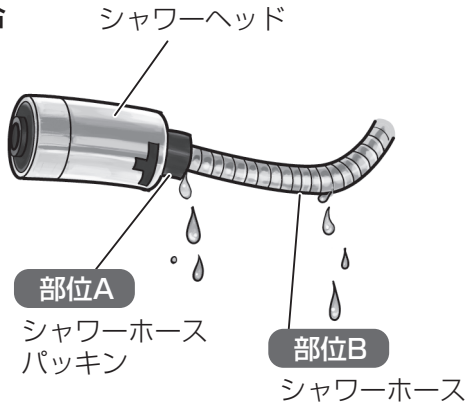
➡シャワーホースパッキンの劣化が考えられます。

シャワーホースパッキンをご注文頂き、交換をしてください。
（交換方法は下記をご参照ください。）

部位B **：シャワーホースから水漏れする場合**

➡シャワーホース自体の劣化が考えられます。

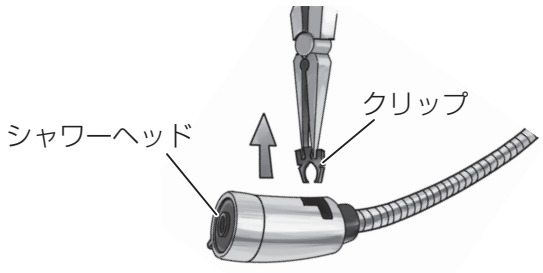
修理ご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。



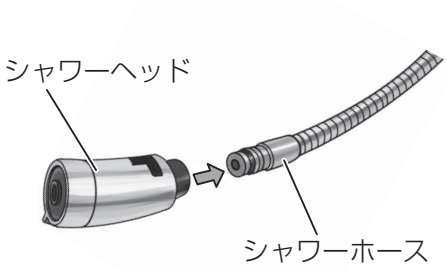
シャワーホースパッキンの交換方法

シャワーヘッドを引き出した状態で、

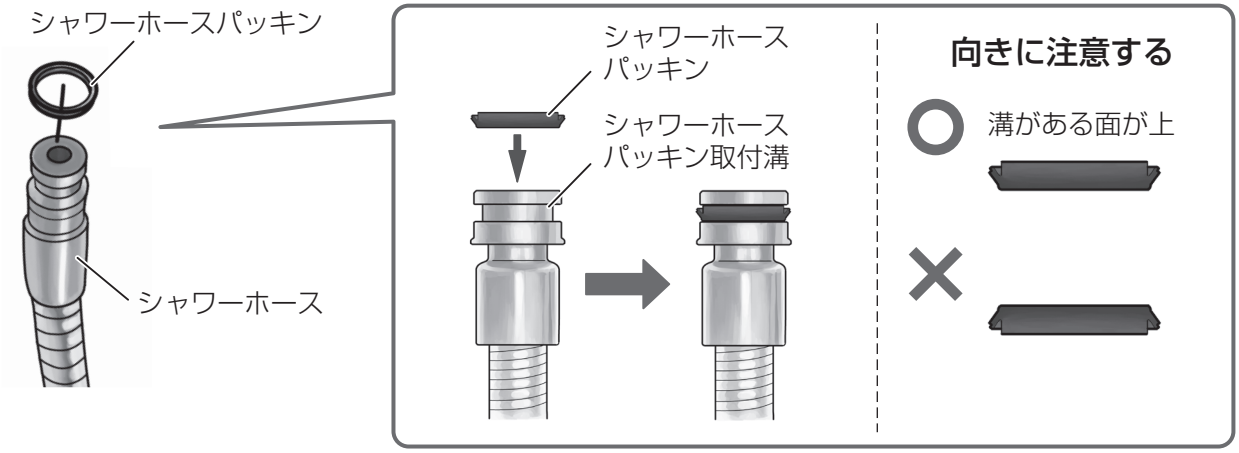
1 **ラジオペンチなどを使用し、クリップをシャワーヘッドから抜く**



2 **シャワーホースを引き抜く**



3 **先端についているシャワーホースパッキンを交換する**



シャワーホースをシャワーヘッドに取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。
シャワーホースを奥までしっかり差し込んで、確実にクリップで固定してください。

お願い
- ●シャワーホースパッキンに傷をつけたり、溝につめをひっかけたりしないように注意してください。
- ●シャワーホースパッキンの向きを逆に取り付けないでください。

故障かな？

下記の項目をお調べいただいても直らないときは、お買い上げの販売店、もしくは裏表紙のお客様相談窓口にご連絡ください。

こんなとき	お調べいただくところ	このように処置してください	参照ページ
水が出ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓を開ける	14
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込む	9
	コネクタは確実に差し込まれていますか。	コネクタを差し込む	9
	高温のお湯（約55℃以上）を出そうとしていませんか。 ※本製品は安全のため節水モードでは、高温のお湯（約55℃以上）は出ないように設定されています。 （温度調整のランプが点滅していませんか。）	節水モードを解除して、通常モードで再度通水する	15
	センサーの検知エリア内に手が入っていますか。	センサーの検知エリア内に手を入れる 節水センサーの感度を上げる	10、12 17
	吐水口にごみなどは詰まっていませんか。	吐水口を清掃する	24
	止水栓のストレーナー付パッキンにごみなどは詰まっていませんか。	止水栓のストレーナー付パッキンを清掃する	27
	断水中ではありませんか。	回復（水道が供給されるの）を待つ	—
	センサー表面が汚れていませんか。	センサー表面の汚れを取る	23
	センサーの前に障害物がありませんか。	障害物を取り除く	—
	停電中ではありませんか。	回復（電気が供給されるの）を待つまたは、手動ハンドルを回す	19
水の出が少ない	シャワーホースはねじれていませんか。	シャワーヘッドを引き出して、シャワーホースのねじれを戻す	—
	吐水口に水あかなどの汚れが付着していませんか。	吐水口を清掃する	24
	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓を開ける	14
	止水栓のストレーナー付パッキンにごみなどは詰まっていませんか。	止水栓のストレーナー付パッキンを清掃する	27
	能力切り替え式ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、適正能力にセットされていますか。	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	吐水口の部品が正しく取り付けられていますか。	吐水口の部品を正しく取り付ける	24
	吐水口は凍結していませんか。	吐水口にぬるま湯をかける	—
	凍結防止モードに設定されていませんか。（流量調整のランプが点滅していませんか。）	凍結防止モードを解除する	20

こんなとき	お調べいただくところ	このように処置してください	参照ページ
水が止まらない	手動ハンドルが開いていませんか。	電源ボックスの手動ハンドルを閉める	22
	吐水口に水あかなどの汚れが付着して、シャワー吐水が広がっていませんか。	吐水口を清掃する	24
	センサー表面が汚れていませんか。	センサー表面の汚れをとる	23
	センサーの検知範囲内に手や障害物がありませんか。	手や障害物を検知範囲の外に移動する	10、12
	コネクタは確実に差し込まれていますか。	コネクタを差し込む	9
	吐水口の部品が正しく取り付けられていますか。	吐水口の部品を正しく取り付ける	24
	凍結防止モードに設定されていませんか。（流量表示ランプが点滅していませんか。）	凍結防止モードを解除する	20
	日光が当たっていませんか。	日光を遮る 節水センサーの感度を下げる	16 17
水が出たり止まったりを繰り返す	センサー表面が汚れていませんか。	センサー表面の汚れをとる	23
	食器や鍋がシンク底辺から7cm以上積み上がっていませんか。	7cm未満にする	16
	センサーの検知エリア内に手が入っていますか。	センサーの検知エリア内に手を入れる 節水センサーの感度を上げる	10、12 17
シャワーホースの出し入れが固い	シャワーホースはねじれていませんか。	シャワーヘッドを引き出して、シャワーホースのねじれを戻す	—
シャワーホースが戻らない	シャワーホースが止水栓などにひっかかっていませんか。	シャワーホースの引っ掛かりを戻す	—
	ホースチューブ（凸部）がホースガイドから外れていませんか。	ホースチューブの凸部をホースガイドに通す	12
止水したとき、吐水口から水が漏れる	シャワーホース内の残留水が落ちています。 故障ではありません。	吐水口を清掃する	24
吐水がきれいに出ない	吐水口に水あかなどの汚れが付着していませんか。	吐水口を清掃する	24
吐水口から異物が出る	吐水口に水あかなどの汚れが付着していませんか。	吐水口を清掃する	24
吐止水時に音がする（シャワーヘッドが振動する）	止水栓を開けすぎていませんか。	止水栓を絞って流量を調整する	14
	給水圧が高くないですか。	市販の減圧弁で給水圧を0.2～0.3MPaに減圧する	—
水栓を回転するときに動きが悪い	可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れのおそれがあります。放置すると故障の原因となりますので、修理を依頼してください。		—

故障かな?

こんなとき	お調べいただくところ	このように処置してください	参照ページ
温度調整がうまくできない	湯側･水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓を開けて調整する	14
	給湯器から十分な湯がきていますか。	給湯器の設定温度、運転を確認する	—
	他所の水栓（食洗機など）を同時に使用していませんか。	他所の水栓との同時使用は避ける	—
	吐水口にごみなどは詰まっていませんか。	吐水口を清掃する	24
	止水栓のストレーナー付パッキンにごみなどは詰まっていませんか。	止水栓のストレーナー付パッキンを清掃する	26
温度調整がうまくできない（高温しか出ない）	給湯設備の設定温度は高くないですか。	給湯設備の設定温度を下げる	—
高温しか出ない	水側の止水栓は十分に開いていますか。	水側の止水栓を開ける	14
低温しか出ない	湯側の止水栓は十分に開いていますか。	湯側の止水栓を開ける	14
シャワーホース接続部から水漏れする	シャワーホース接続部のパッキンが劣化していませんか。	シャワーホースパッキンを交換する	29
シャワーホースの途中から水漏れする	シャワーホースが劣化していませんか。	止水栓を閉めて修理ご相談窓口に連絡する	裏表紙
操作パネルのランプが点滅して水が出ない	右表でランプの点滅状況を確認してください。		—

■操作パネルのランプが点滅して水が出ない

症　状	原　因	このように処置してください
「流量表示」ランプが点滅(速)	流量・温度調整機能のエラー	コンセントから電源プラグを抜き、ランプが消灯してから電源プラグを差し直してください。
「流量表示」「温度表示」ランプが交互に点滅(速)	コネクタの接続エラー	コンセントから電源プラグを抜き、コネクタが確実に接続されていることを確認してから、コンセントに電源プラグを差し直してください。
「節水」「流量表示」「温度表示」ランプが全て点滅(速)	電源ボックス内で水漏れしている	コンセントから電源プラグを抜き、水側・湯側の止水栓を閉めて(14ページ)、修理ご相談窓口にご連絡ください。
「温度表示」ランプが点滅(速)	温度検知センサー(サーミスター)の異常	●サーミスター異常の場合 →修理ご相談窓口(裏表示)にご連絡ください。 ※電源を入れ直すことで、通常モードで、水のみ使用できます。

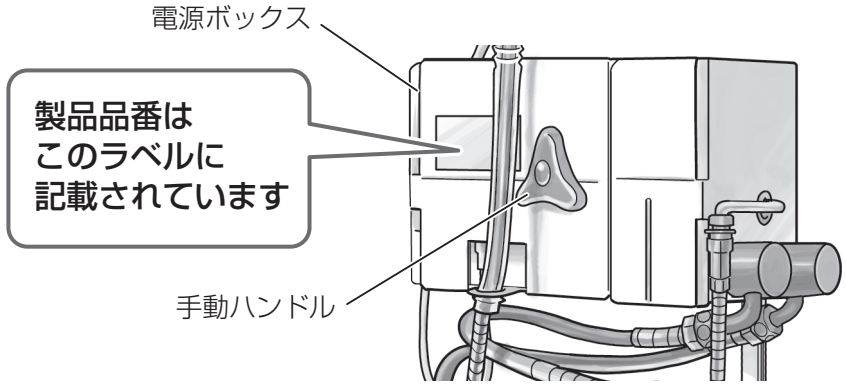
電源プラグを差し直しても、操作パネルのランプが点滅し続けて水が出ない場合は、止水栓を閉めて、お買い上げの販売店、もしくは裏表紙の修理ご相談窓口にご連絡ください。

仕様

部　　位		仕　　様
給水・給湯圧力	最低必要水圧	動水圧　0.05MPa
	最高水圧	静水圧　0.75MPa
	推奨使用水圧	0.2～0.3MPa
給湯温度	最高温度	85℃以下
	推奨温度	50℃以下
使用可能水質		水道水（※1）
用途		家庭用
電源電圧		AC100V　0.26A　50/60Hz
消費電力	待機時	約0.7W（電源を接続した状態で「切」の時）
	吐水時	通常モード：約7.0W　　節水モード：約7.7W
	ピーク時	約20W（節水モードで吐水中に流量／温度調整ボタンを操作した時）
電源コード長さ		1.0m
高温止水機能（節水モード）		この製品は、安全のため高温止水機能を内蔵しています。 節水モードでは、高温のお湯（約55℃以上）を出そうとすると自動で止水します。 高温のお湯（約55℃以上）をお使いになる場合は、通常モードでお使いください。 ※通常モードでも高温のお湯（約55℃以上）を使っている間は温度調整ランプが点滅します。（水温が約40℃以下に下がると点灯状態になります。）

※1　温泉水、井戸水、地下水は機器に悪影響を及ぼす可能性があるため、使用しないでください。

製品品番記載位置



Panasonic

出張修理

トリプルセンサー水栓保証書

※お客様	お名前	様
	ご住所	
	電話番号	
※販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

※お引き渡し日	年　月　日
品番	S01E10TUA1　（一般地仕様） S01E10TUAZ1　（寒冷地仕様）
保証期間	お引き渡し日より　本体1年間

ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引き渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
（ハ）この製品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

3.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

（イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）消耗部品（パッキン等）の取替えや修理、ストレーナーのゴミ詰まり等による故障及び損傷
（ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
（ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
（ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ヘ）仕上げのキズ等で、お引き渡し時に申し出がなかったもの
（ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
（チ）維持管理の不備による汚れ、さび、給水管、排水管の詰まり等の不具合
（リ）第三者による管理上、メンテナンス上等の不備に起因する不具合
（ヌ）犬・猫・鳥・鼠等の小動物や虫等の行為に起因する故障及び損傷
（ル）施工説明書に記載された方法以外の設置内容に起因する損傷や故障
（ヲ）建築躯体の変形等対象製品本体以外の不具合に起因する故障及び損傷
（ワ）異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧、周波数）の使用及び異常水質による故障及び損傷
（カ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
（ヨ）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
（タ）一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
（レ）本書のご提示がない場合
（ソ）保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書等で左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
（ツ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
（ネ）タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤等）の使用により発生した損傷
（ナ）温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合

4.本書は日本国内においてのみ有効です。

5.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

6.お客様ご相談窓口は次頁をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及び安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地　TEL（代表）06－6908－1131

見本

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	
お引き渡し日	年　月　日

■保証書（35ページ）

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

修理を依頼されるとき

■まず、使用機器の電気・ガス・水道などの元を断ち、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

①品名
②品番 ※品番記載位置は34ページをご覧ください。
③お引き渡し日
④異常の状況 （できるだけ具体的に）

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報はホームページでご確認ください。 パナソニック 検索 http://panasonic.co.jp/

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト ハイ・パーツショップ 検索 http://www.sumu2.com/shop/parts/

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

フリーダイヤル 0120-055-802（ゴーゴー バーツ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

【受付時間】月～金　/9:00～19:00
土・日・祝日/9:00～17:00
※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1224

修理のご用命は

パナソニック エコソリューションズ **修理サービスサイト** http://sumai.panasonic.jp/support/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック エコソリューションズ **修理ご相談窓口**

フリーダイヤル 0120-872-150（バナニ イコー）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

【受付時間】365日/9:00～20:00

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1090

商品のお問い合わせは

パナソニック **総合お客様サポートサイト** http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック **お客様ご相談センター**

フリーダイヤル 0120-878-365（バナハ 365日）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

【受付時間】365日/9:00～20:00

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6907-1187

●FAX……フリーダイヤル 0120-878-236

音声ガイダンスを短くするには	案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「650#」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のトリプルセンサー水栓の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源プラグを差し直してもランプが点滅し続けて水が出ない
- こげ臭いにおいがしたり、異状に熱くなったり、運転中に異常な音や振動がする
- 触るとピリピリ電気を感じる
- その他の異常や故障がある

▶ 故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2015

D0612-3025